増設用バッテリユニット BUM100R/300R 取扱説明書

OMRON

●この説明書には増設用バッテリユニット（BUM100R/BUM300R）を安全にご使用いただくため重要なことが書かれていますので、設置やご使用される前に必ずお読みください。
●無停電電源装置（UPS）（BU75RW/BU100RW/BU200RW/BU300RW）の取扱説明書を先に読んで、無停電電源装置（UPS）の取扱いを理解してから、増設用バッテリユニットの接続、増設を行ってください。

安全上のご注意

安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。設置やご使用開始の前に必ずお読みください。

●この取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

危 険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注 意	誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。

：禁止（してはいけないこと）を示します。例えば は分解禁止を意味しています。

：強制（必ずしなければならないこと）を示します。例えば はアースの接続が必要であることを意味します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

危 険

分解、修理、改造をしないこと。
●感電したり、火災を起こす危険があります。

内部から液体が漏れたら、液体にさわらないこと。
●失明したり、火傷をする危険があります。
●目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。

危 険（製品の用途）

本製品を、下記の例のような極めて高い信頼性や安全性が求められる用途に使用しないこと。（本製品は、パソコンなどのOA機器に使用することを目的に設計・製造されています。）
● 人命に直接関わる医療機器やシステム
● 人身の安全に直接関連する用途。（例：車両・エレベータなどの運行、運転、制御など）
● 故障すると社会的、公共的に重大な損害や影響を与える可能性のある用途。（例：主要なコンピュータシステム、幹線通信機器など）
● 上記に準ずる用途。

注 意（設置時）

運搬、取り出し、設置の作業は２名以上で行うこと。
● けが、落下、転倒などの危険があります。

製品の重量はBUM100Rは26kg、BUM300Rは42kgです。重量に注意して取出しや運搬を行うこと。
● 転倒や落下するとけがをすることがあります。
● 落下させた場合は、すぐに本製品の使用を中止し、点検、修理を依頼してください。修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。

梱包のポリ袋やフィルム類は幼児の手の届かない場所に移すこと。
● 小さいお子様がかぶったりすると、呼吸を妨げる危険性があります。

⚠ 注 意（設置時）

指定方向以外では設置しないこと。

● 設置方向は5ページ「2-1設置をする」をご参照ください。
● 転倒や落下するとけがをすることがあります。
● 指定方向以外で設置されると、バッテリが液漏れしたときの保護ができません。
● 縦置き時はスタンドをご使用ください。

最高気温が 40℃を超える場所で使用しないこと。

● バッテリが急速に劣化し、火災などを起こすことがあります。
● 本製品が故障したり、誤動作を起こすことがあります。

使用保管環境は仕様範囲を超えないこと。
次のような場所で設置や保管をしないこと。

● 湿度が 10%よりも低い／湿度が 90%よりも高い場所に保管しないこと。
● 湿度が 25%よりも低い／湿度が 85%よりも高い場所で使用しないこと。
● 隙間のないキャビネットなど密閉した場所／可燃性ガスや腐食性ガスがある場所、極端に埃の多い場所、直射日光が当たる場所、屋外など。
● 火災などの原因になることがあります。

ラックに設置する場合は、ラックの最下段に本製品を設置すること。

● 落下するとけがをすることがあります。

BU75RW/BU100RW/BU200RW/BU300RWの「AC入力」は必ず定格入力電圧（AC100～120V）、周波数50/60Hzの商用電源に接続すること。

● 電圧、周波数の違う商用電源に接続すると、火災を起こすことがあります。
● 本機が故障することがあります。

⚠ 注 意（使用時）

寿命が尽きたバッテリはすぐに交換するか、本機の使用を中止すること。

● 使用を続けると火災を起こすことがあります。

平均周辺温度	期待寿命
20℃	4 ～ 5 年
30℃	2 ～ 2.5 年

※左の表は標準的な使用条件での期待寿命であり、保証値ではありません。

上にものを乗せたり、重量物を落下させないこと。

●ケースのゆがみや破損、内部回路の故障により火災を起こすことがあります。

密閉した場所で使用したり、カバーを掛けたりしないこと。

●異常な発熱や火災を起こすことがあります。

濡らしたり、水をかけないこと。

●感電したり、火災を起こすことがあります。
●水に濡らした場合はすぐに本機の使用を中止し、背面の「過電流保護スイッチ」をOFFにして、点検、修理を依頼してください。
修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。

バッテリ接続コネクタ、増設コネクタに金属物を挿入しないこと。
コネクタの端子間をショートしないこと。

●感電する恐れがあります。

バッテリ増設コネクタは、ガイドに合わせて接続すること。

●逆ざしすると、本製品が故障することがあります。

⚠ 注 意（バッテリ交換時）

交換作業は安定した、平らな場所で行うこと。

● バッテリは落下しないよう、しっかりと保持してください。
●落下によるけが、液漏れ（酸）によるやけどなどの危険があります。

⚠ 注 意（バッテリ交換時）

指定以外の交換バッテリは使用しないこと。

● 火災の原因となることがあります。
● 商品型式：BUB100R: (BUM100R (2個必要)交換用バッテリパック)
　　BUB300R: (BUM300R (2個必要)交換用バッテリパック)

可燃性ガスがある場所でバッテリ交換をしないこと。

● バッテリを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。

バッテリから液漏れがあるときは液体（希硫酸）に触らないこと。

● 失明したり、やけどをする危険があります。
● 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。

バッテリの分解、改造をしないこと。

●希硫酸が漏れ、触ると失明、やけどなどの恐れがあります。

バッテリを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。

●希硫酸が漏れたりすることがあります。

バッテリを金属物でショートさせないこと。

● 感電、発火、やけどの恐れがあります。
● 使用済みバッテリでも内部に電気エネルギーが残っています。

バッテリを火の中に投げ入れたり、破壊したりしないこと。

● バッテリが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。

新しいバッテリと古いバッテリを同時に使用しないこと。

● 希硫酸が漏れたりすることがあります。

お願い

購入されましたら、早目に充電（24時間以上）してください。

● ご購入後長期間使用しないでいると、バッテリの特性が劣化し、使用できなくなることがあります。
● BU75RW/BU100RWのAC入力を商用電源に24時間以上接続することでバッテリを充電できます。
● BU200RW/BU300RWのAC入力を商用電源に接続、背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をONにし24時間でバッテリを充電できます。

無停電電源装置（UPS）を保管される場合は24時間以上充電し、「電源」スイッチを切ってください。

●バッテリは使用しない場合でも自然放電し、長期間放置しますと過放電状態となります。
　バックアップ時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。
●長期間保管される場合は25℃以下の環境を推奨します。
　保管温度　25℃以下の場合、6ヶ月以内、
　保管温度　40℃以下の場合、2ヶ月以内に
　・BU75RW/BU100RWのAC入力を商用電源に接続し24時間以上充電してください。
　・BU200RW/BU300RWのAC入力を商用電源に接続後、背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をONにし24時間以上充電してください。
● 保管中は無停電電源装置（UPS）の「電源」スイッチを切ってください。

本機を直射日光の当る場所に設置あるいは保管しないでください。

● 温度上昇により内蔵バッテリが急速に劣化し、使用できなくなることがあります。

この製品には、鉛バッテリ（鉛蓄電池）を使用しています。

●鉛バッテリはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。
　リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。

1 準備

1-1 製品を取り出す

⚠ 注 意

運搬、取り出し、設置の作業は２名以上で行うこと。
● けが、落下、転倒などの危険があります。

製品の重量はBUM100Rは26kg、BUM300Rは42kgです。重量に注意して取出しや運搬を行うこと。
● 転倒や落下するとけがをすることがあります。
● 落下させた場合は、すぐに本製品の使用を中止し、点検、修理を依頼してください。修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。

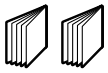
不安定な場所へ設置しないこと。
● 転倒や落下するとけがをすることがあります。

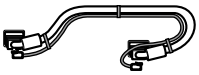
梱包箱をあけ、増設用バッテリユニットと付属品を取り出してください。

1-2 付属品を確認する

付属品がすべて揃っているか、外観に損傷はないか確認してください。
万一、不良品その他お気づきの点がございましたら、すぐに販売店へご連絡ください。

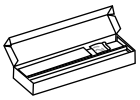
1. 取扱説明書（日本語版、英語版）.....1 冊
2. バッテリ接続ケーブル＋信号ケーブル .....1 組
3. 保証書.....1 枚
4. バッテリ使用開始日ラベル .....1 枚
5. EIA/JIS19 インチラック対応サポートアングル・取付金具.....1 セット
6. 固定金具.....1 セット
7. 横置きゴム足 (14.5mm 厚).....4 個
8. 縦置きゴム足 (1.7mm 厚).....4 個

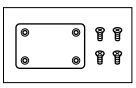

取扱説明書
（日本語版、英語版）


バッテリ接続ケーブル
＋信号ケーブル

ゴム足
（縦置：1.7mm厚
横置：14.5mm厚）

保証書


EIA/JIS19インチラック対応
サポートアングル

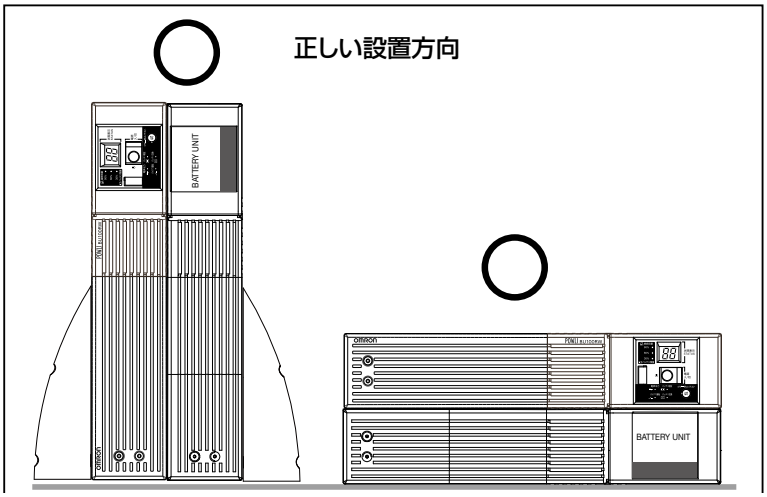

固定金具

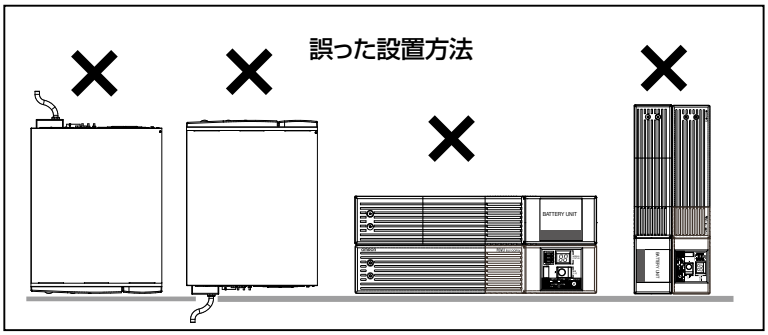
2 設置・接続をする

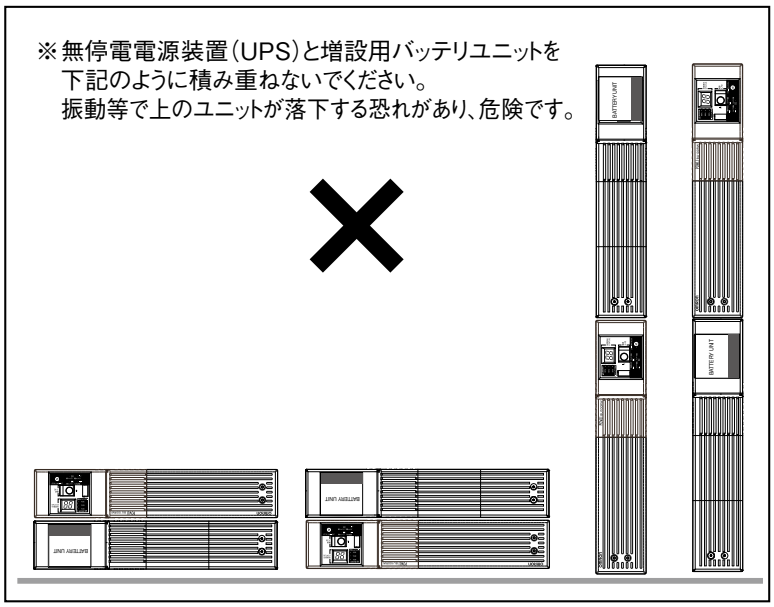
2-1 設置をする

増設用バッテリユニットを設置します。下図で指定した正しい設置方向以外では使用しないでください。

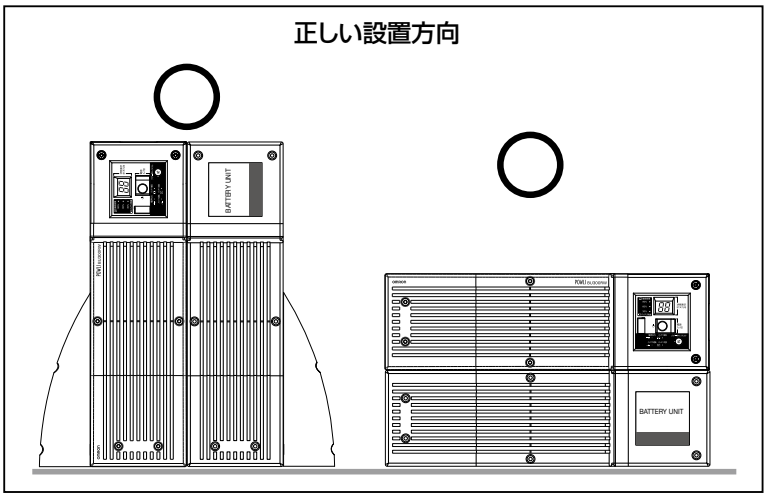
● BUM100R の場合

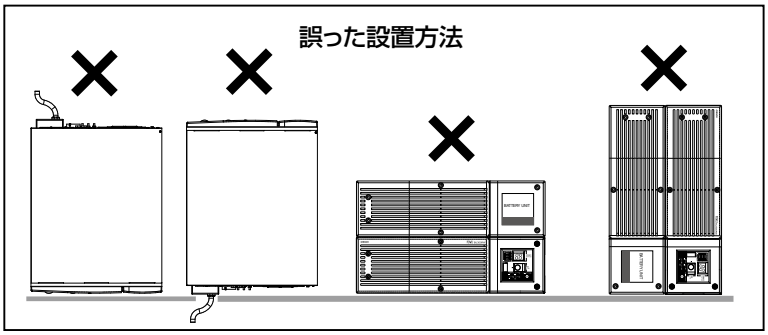


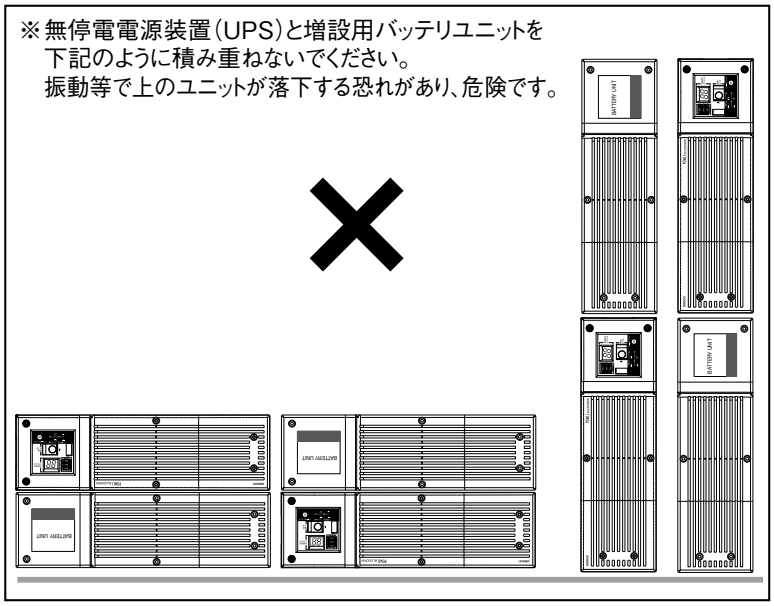




● BUM300R の場合


正しい設置方向
BATTERY UNIT
BATTERY UNIT


誤った設置方法


※無停電電源装置（UPS）と増設用バッテリユニットを
下記のように積み重ねないでください。
振動等で上のユニットが落下する恐れがあり、危険です。

2-1-1. ラックマウント設置（EIA/JIS19 インチラック・サーバーラック）

⚠ 注 意

ラックへの設置は必ず付属のサポートアングルと取付金具の両方を使用し、支持・固定すること。
バッテリユニット接続／増設時は必ずバッテリユニットを本体ユニットよりも下に設置すること。

- ユニットごとに個別にサポートアングルで支持すること。
- ラックへの設置は必ず付属のサポートアングルと取付金具を使用してください。サポートアングルなしで前面金具だけでは重量を支えることができません。
- 無停電電源装置の質量： BU75RW/BU100RW:約20kg BUM100R:約26kg
  BU200RW/BU300RW:約33kg BUM300R 約42kg

ラックに設置する場合はラックの最下段に本製品を設置すること。

- 落下をするとけがをすることがあります。

取付けねじは必ず付属のものを使用すること。

- 付属品以外のねじを使用すると強度不足により、落下事故などの原因になる恐れがあります。

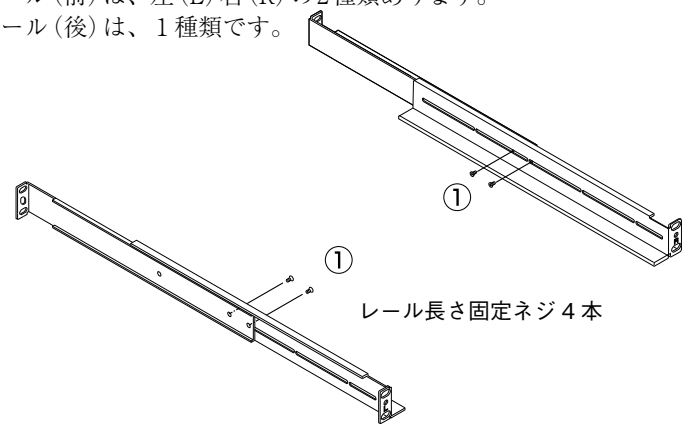
●19インチラックサポートアングル取付金具セットの梱包内容

ラックレール（前）L 1
ラックレール（前）R 1
ラックレール（後） 2
耳金具.....2

レール長さ固定ネジ（小）.....4
耳金具取付け皿ネジ（M4） 8
ラック固定ネジ（M5） 8
ラック固定ナット（M5） 8
本体固定ネジ（M6）.....2
本体固定ナット（M6） 2

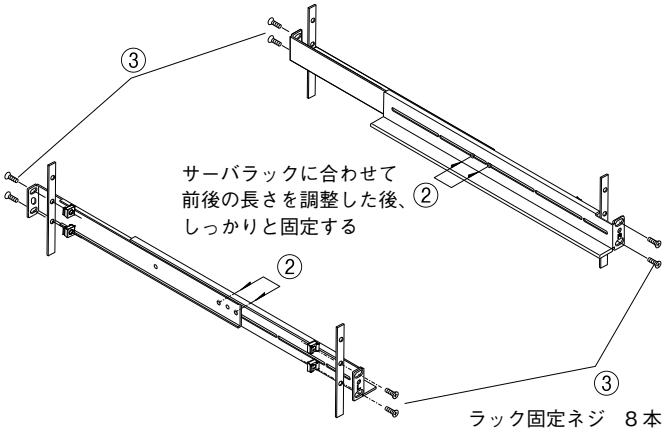
●BUM100R/BUM300Rのラック取付方法

（1）ラックレール（前）とラックレール（後）を付属のレール長さ固定ネジ４本で仮止めします。①
ラックレール（前）は、左（L）右（R）の2種類あります。
ラックレール（後）は、１種類です。



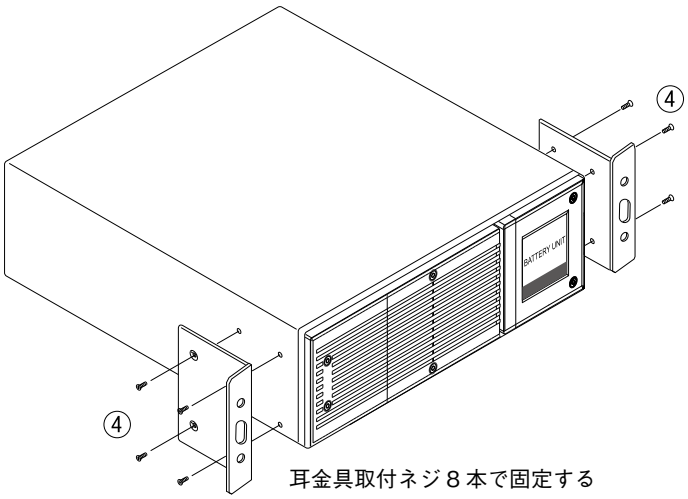
(2) ご使用のサーバラックに合わせてサポートアングルの長さを調節し、(1) で仮止めしたネジをしっかりと固定します。②

(3) EIA規格に準拠した設置をする場合は、サポートアングルの前面（LもしくはRと表示)、および背面を付属のラック固定ナット (M5) 8個と固定ネジ (M5) 8本でサーバラックにしっかりと固定します。③
JIS規格の場合は、左右のサポートアングルの前後各1ヵ所(真ん中のネジ穴)を、計4セットのネジとナットで固定してください。③



ラック固定ネジ　8本（EIA 規格）
4本（JIS 規格）

(4) 耳金具を無停電電源装置 (UPS) の左右側面に付属の耳金具取付ネジ8本 (4本×2) でしっかり固定します。④

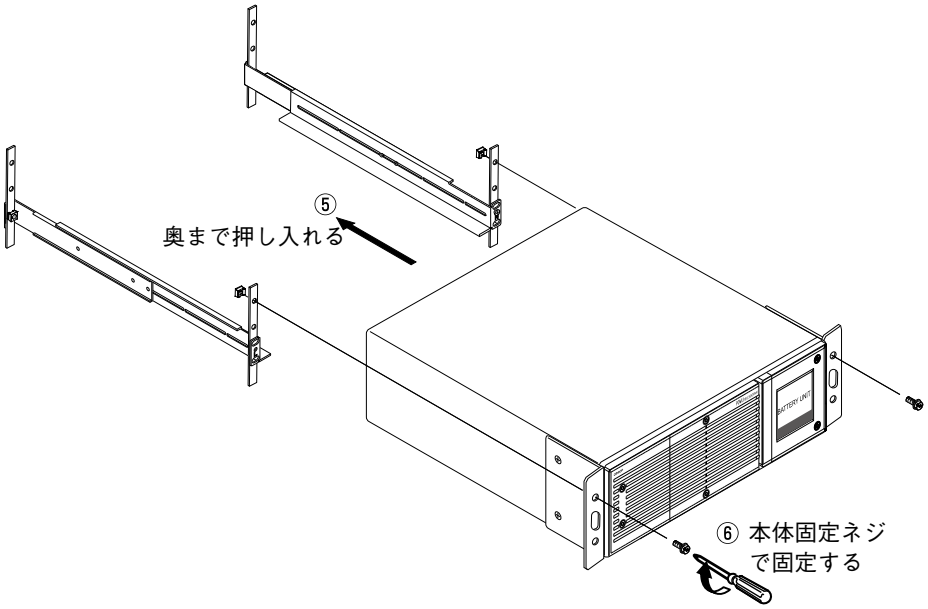


耳金具取付ネジ8本で固定する

特殊仕様のEIA/JISラックには、サポートアングルを取り付けることができません。

(5) 無停電電源装置（UPS）をサポートアングルに乗せて奥までしっかり押し入れ⑤、耳金具を付属の本体固定ネジ2本でサーバラックにしっかり固定します。⑥

JIS規格ラックにて耳金具とラックのネジ穴の位置が合わない場合は、耳金具真ん中の長穴とラックのネジ穴を使用して、左右1ヵ所ずつで固定してください。



⚠ **必ず支持金具（サポートアングル）を使用してください。**

2-1-2. 据置き設置

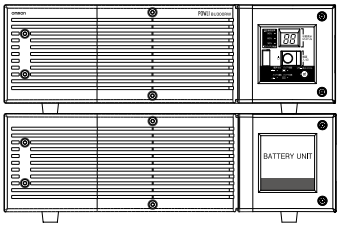
下図以外の設置は行わないでください。

● 横置き

付属の横置きゴム足（高さ 14.5mm）を底面の丸シールの上（4 箇所）に貼って横置きにしてください。
横置きで据置きされる場合はスベリ、落下等のないようご注意ください。
UPS 本体 (BU75RW/BU100RW/BU200RW/BU300RW) は、増設バッテリユニット (BUM100R/BUM300R) の上に重ねて設置してください。

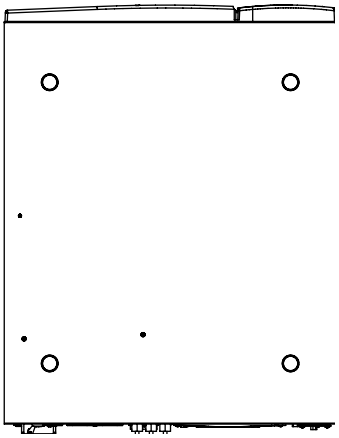
BU75RW/BU100RW

BUM100R



BU200RW/
BU300RW

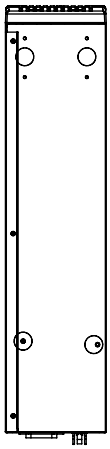
BUM300R

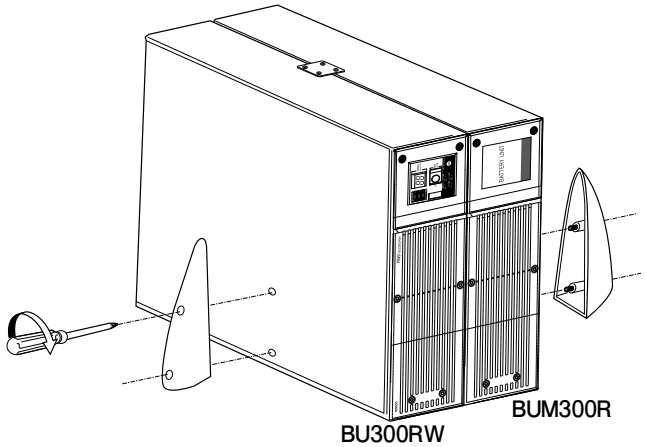


本製品のゴム足が、床面などに接した状態で引きずらないでください。

● 縦置き

UPS 本体 (BU75RW/BU100RW/BU200RW/BU300RW) 付属のスタンドを使用してください。
縦置きゴム足 (高さ 1.7mm) 4 個を本機の底面 4 ヵ所 (下図) に貼り付けてください。
(UPS 本体には UPS 付属のゴム足を底面 4 ヵ所に貼ってください。
縦置スタンドには UPS 付属のゴム足をそれぞれの底面に 1 個ずつ貼り付けてください)





⚠ 注意

据置き設置時：
縦置き時は付属のスタンド、固定金具を使用してください。
横置き時は底面に付属の横置き用ゴム足を貼付けし、スベリ、落下等のないようにご注意ください。

2-2 増設用バッテリユニットの接続(BUM100R/BUM300R)

増設できる増設用バッテリユニットは 1 台のみです。

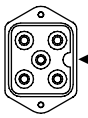
2-2-1 BUM100R の接続方法／接続可能 UPS：BU75RW/BU100RW

(1) BU100RW とバッテリユニット BUM100R の背面のコネクタに、バッテリ増設ケーブルのコネクタを接続します。バッテリ増設信号コネクタにもケーブルを接続してください。

(2) バッテリユニット BUM100R 背面の「過電流保護」スイッチを ON 側に倒します。
本機の「AC 入力」プラグを商用電源コンセントに接続後、本機操作部の「バッテリ増設」ランプが点灯します。

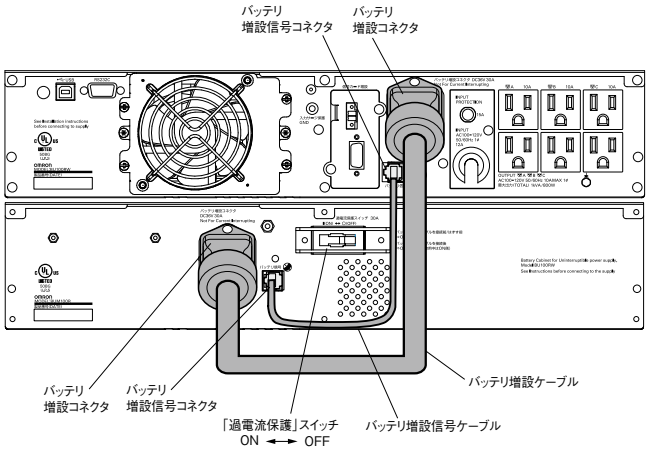
※ BUM100R を取り外す際には、まずバッテリ増設信号ケーブルを外してから、バッテリ増設ケーブルを外してください。

バックアップ時間は、BU75RW に 600W の機器を接続した場合、約 40 分、BU100RW に 800W の機器を接続した場合、約 30 分となります。(周囲温度 20℃、バッテリ初期値)
また、充電時間は完全放電状態から 24 時間となります。

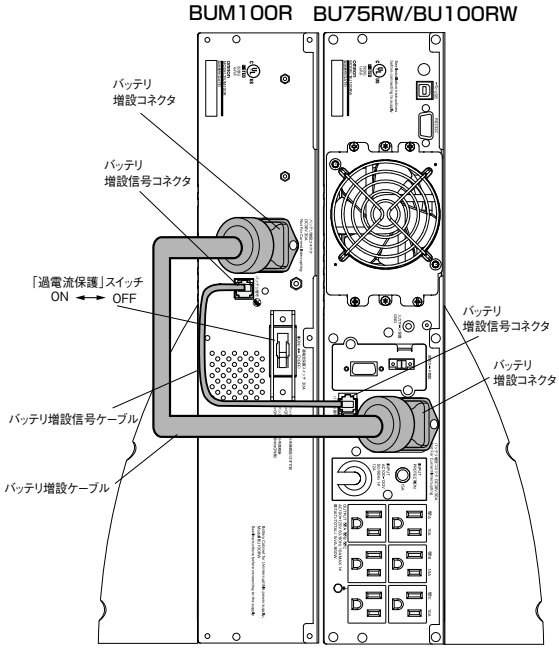


ガイドに注意してバッテリ増設ケーブルを接続してください。

＜横置き＞



＜縦置き＞

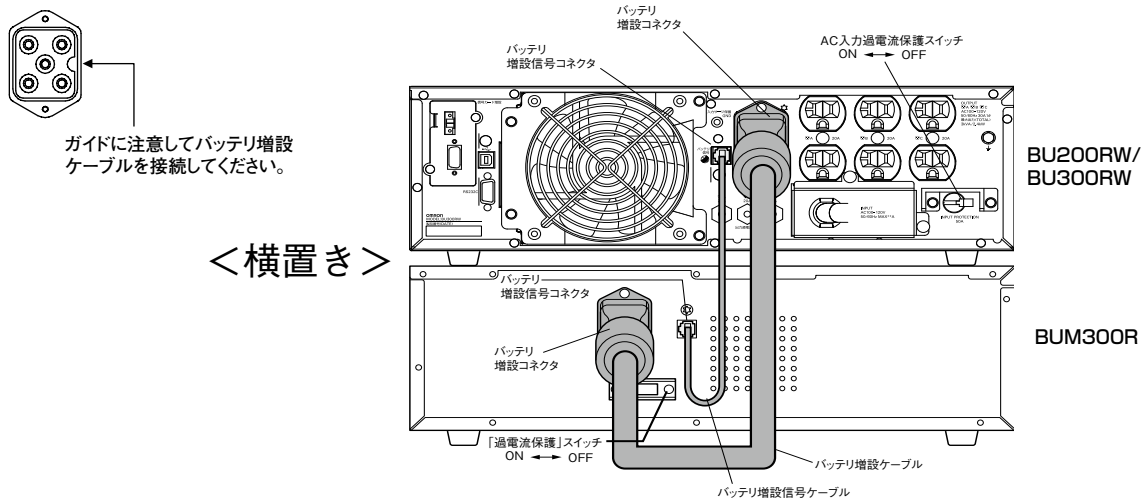


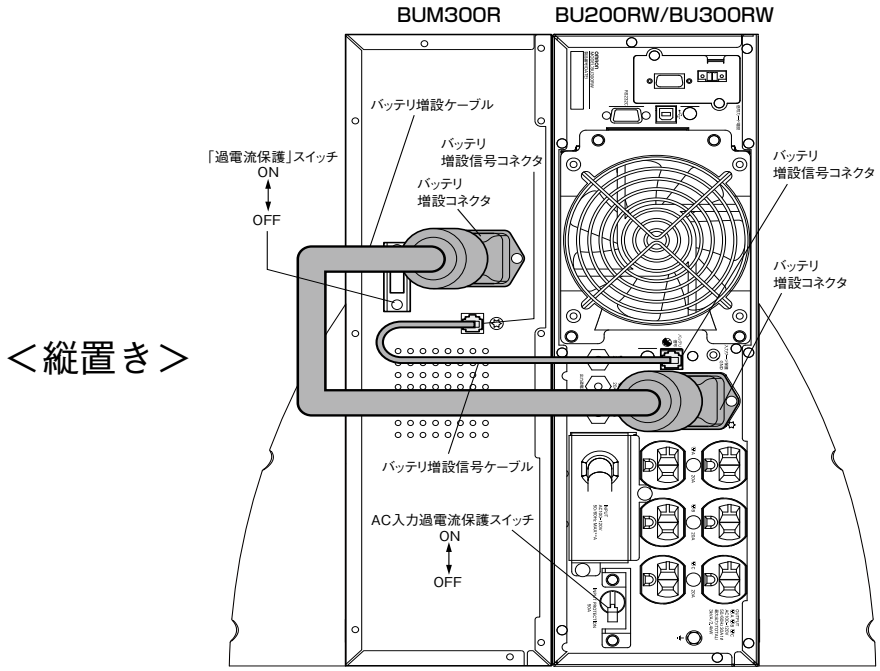
2-2-2 BUM300R の接続方法／接続可能 UPS : BU200RW/BU300RW

(1) UPS とバッテリユニット背面のコネクタにバッテリ増設ケーブルのコネクタを接続します。
バッテリ増設信号コネクタにもケーブルを接続してください。

(2) バッテリユニット背面の「過電流保護」スイッチと、無停電電源装置（UPS）背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」を ON 側に倒します。
UPS の「AC 入力」を商用電源に接続後、UPS 操作部の「バッテリ増設」ランプが点灯します。

バックアップ時間は、BU200RW に 1600W の機器を接続した場合、約 30 分、BU300RW に 2400W の機器を接続した場合、約 18 分となります。（周囲温度 20℃、バッテリ初期値） また、充電時間は完全放電状態から 24 時間となります。





3 バッテリの交換

無停電電源装置（UPS）が運転中止（電源出力停止）状態や、運転中（電源出力中）のどちらでもバッテリの交換ができます。

⚠ 注意
縦置き設置の場合バッテリの交換は、上側バッテリ→下側バッテリの順番で行うこと。
●下側バッテリパックから先に取り出すと、転倒しやすく危険です。

⚠ 注意
増設用バッテリユニット(BUM100R/BUM300R)を無停電電源装置（UPS）に接続してご使用されている場合は､バッテリの交換を同時に行ってください。増設用バッテリユニットのみのバッテリ交換はできません。

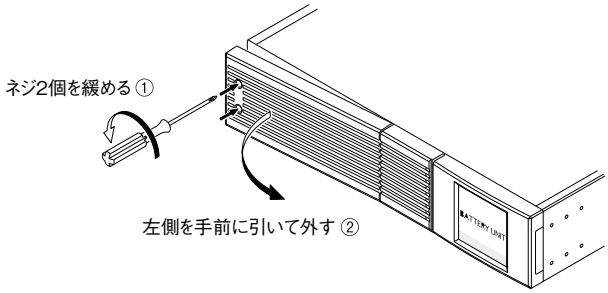
⚠ 注意
無停電電源装置（UPS）をUL規格適合品としてご使用される場合は、運転（電源出力中）状態でのバッテリの交換はしないでください。運転状態でのバッテリの交換機能はUL規格に適合していません。かならず無停電電源装置（UPS）の運転を停止してバッテリを交換してください。

※ 停止状態で交換される場合は､接続機器を停止し､無停電電源装置(UPS)の｢電源｣スイッチを切り、「AC入力」を商用電源から抜くか、背面の過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにしてください。
※ 運転状態でのバッテリ交換中に停電などの入力電源異常が発生した場合、バックアップできず出力が停止します。
※ バックアップ運転中にバッテリ交換をしないでください。出力が停止します。

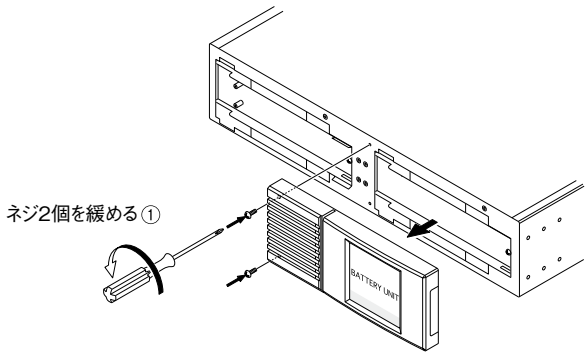
■増設用バッテリユニット（BUM100R）のバッテリの交換方法

無停電電源装置（UPS）のバッテリ交換方法については、無停電電源装置（UPS）の取扱説明書をお読みください。

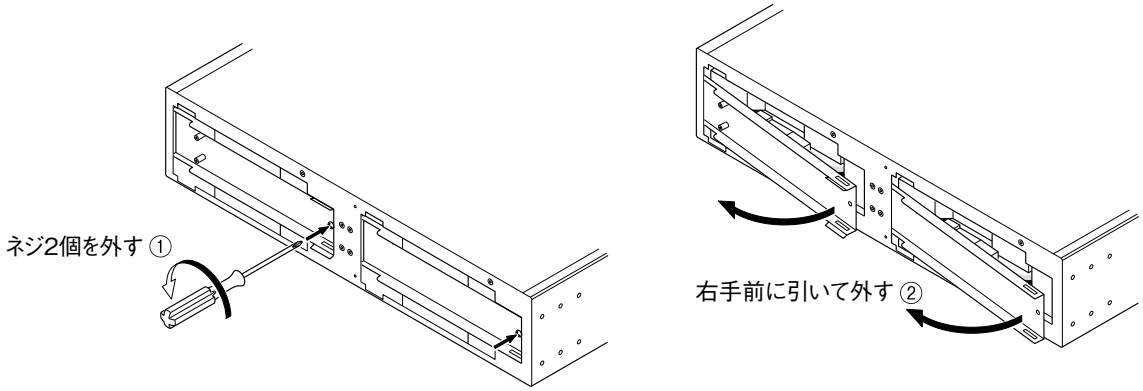
1. BUM100R前面部左側パネルにあるネジ2個をドライバーで反時計回りにネジが空回りするまで緩めます。（ネジはフロントパネルから外れない構造になっています。）①
   フロントパネルを手前に引いて外します。②



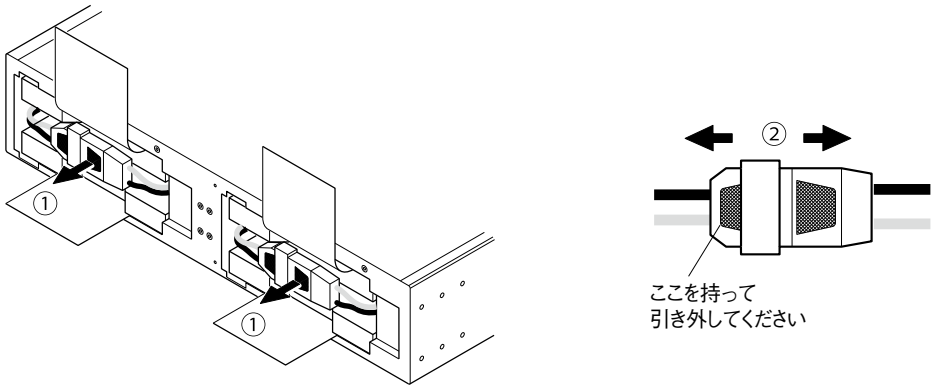
2. 前面部右側パネル（"BATTERY UNIT"ロゴのある部分）にあるネジ2個をドライバーで緩め、パネルを外します。①



3. それぞれの板金カバーを止めてあるネジ(右側に1個ずつ)を反時計回りに回して外します。①
板金カバーを右側手前に引いて外します。②



4. 板金カバーからバッテリコネクタ２個を取り①、コネクタの接続を外します。②

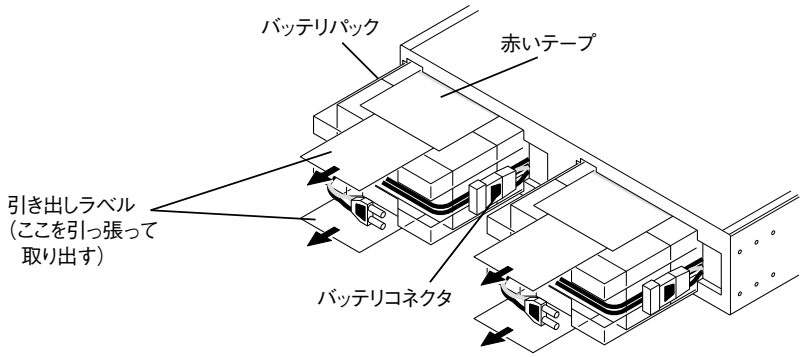


5. バッテリパック上下の引き出しラベルを持って、左右のバッテリパックを取り出します。

⚠ 注 意

バッテリパックのコネクタ、ケーブルを持たないこと。

バッテリパック天面に貼ってある赤いテープが見えたら、あと10㎝でバッテリが完全に取り出せます。
バッテリをしっかりと持ち、バッテリを落とさないよう注意してください。

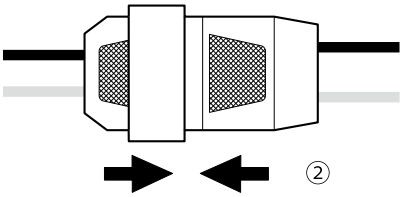


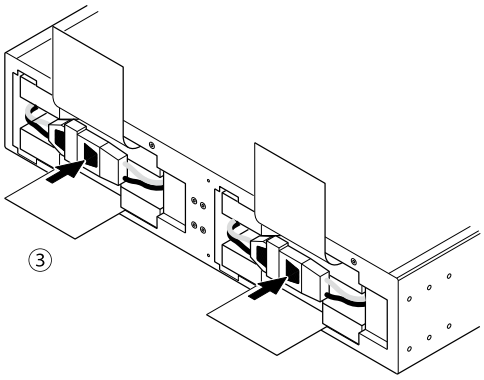
6. 新しいバッテリパックを傾けないように真っ直ぐ増設バッテリユニットの奥まで挿入し、収納します。①

● **交換用バッテリパック**

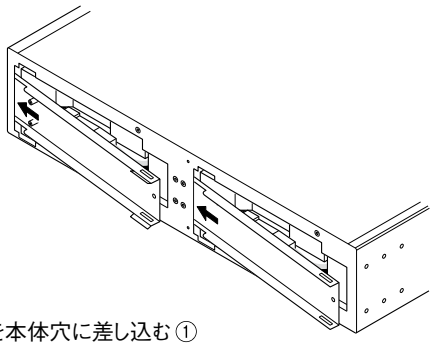
BUM100R用：型式名BUB100R（2個必要）

バッテリコネクタを止まるまで差し込みます。
それぞれ本体に収納します。③

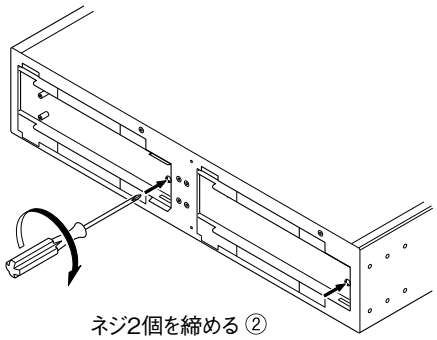




7. 板金カバーを取り付けます。
それぞれの板金カバー左側のツメをBUM100R内側の穴に差し込んだ後①、BUM100R側へ押さえます。
板金カバー右側を外したネジそれぞれ1個ずつでしっかりと締め付けます。

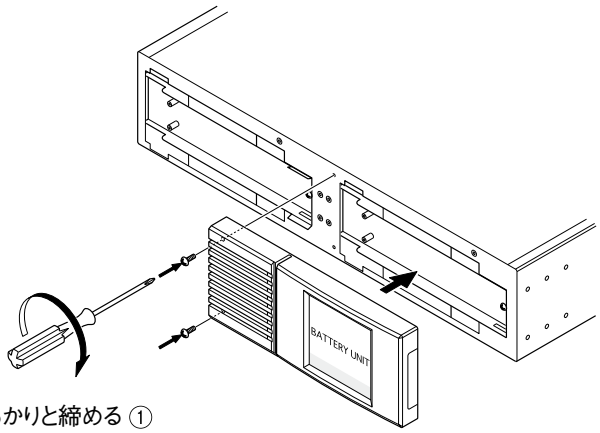


左側のツメを本体穴に差し込む ①



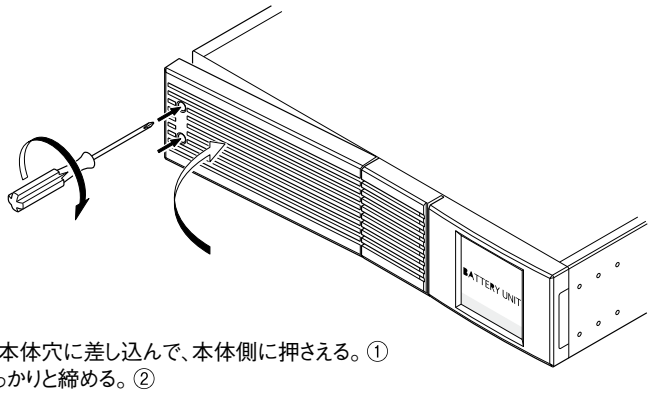
ネジ2個を締める ②

8. 前面部右側パネル（“BATTERY UNIT”のロゴのある部分）を取り付けます。
パネル左側をネジ2個でしっかりと締め付けます。①



ネジ2個でしっかりと締める ①

9. 前面部左側パネルを取り付けます。
右側のツメを本体側に差し込んだ後、本体側に押さえます。①
パネル左側にあるネジ2個をドライバーで時計回りに回し、しっかりと締め付けます。②



右側のツメを本体穴に差し込んで、本体側に押さえる。①
ネジ2個でしっかりと締める。②

以上でバッテリ交換は終了です。

＜運転状態のまま交換した後は・・・＞

交換前に「バッテリ交換」表示、ブザーが鳴動していた場合は、「ブザー停止 / テスト」スイッチをまず一回押してブザー音を停止させ、さらにスイッチを 5 秒以上押し、自己診断テストを実施してください。約 10 秒のテスト完了後に表示・ブザーが停止し、正常運転に戻ります。

＜運転を停止して交換した後は・・・＞

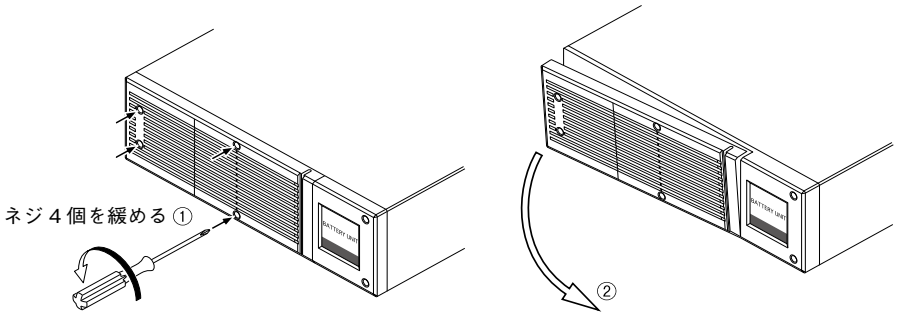
「AC 入力」を商用電源に接続し、本機の「電源」スイッチを入れてください。
運転開始時、自動的に自己診断テストを実施します。約 10 秒のテスト後に正常運転に戻ります。

❗ 付属のバッテリ使用開始日シールに使用開始時期を記入し、本体に貼付してください。
なお、本機に添付の自動シャットダウンソフトをご使用いただければ、本ソフトにて使用開始時期を管理いただけます。

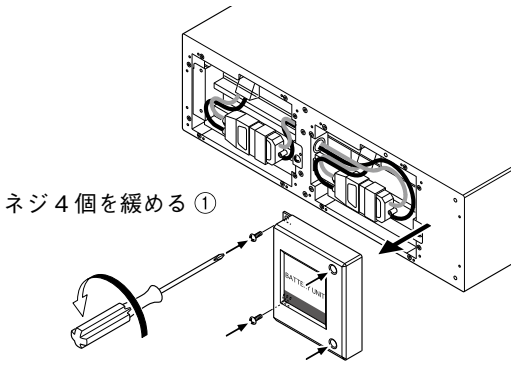
■増設用バッテリユニット（BUM300R）のバッテリの交換方法

無停電電源装置（UPS）のバッテリ交換方法については、無停電電源装置（UPS）の取扱説明書をお読みください。

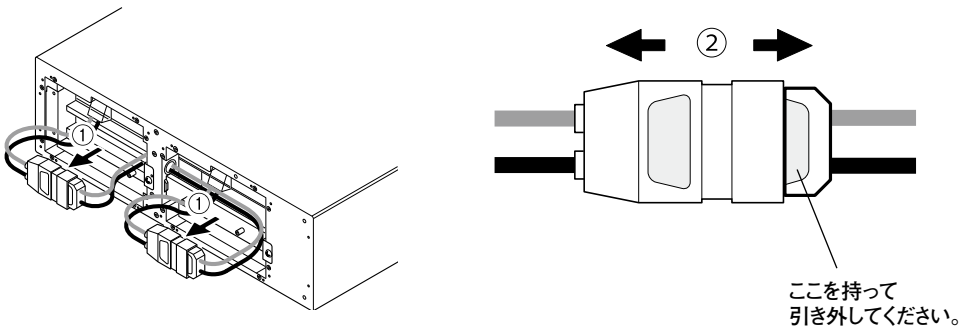
1. 増設バッテリユニットのフロントパネルにあるネジ４個をドライバーで反時計回りにネジが空回りするまで緩めます。（ネジはフロントパネルから外れない構造になっています。）①
   フロントパネルの左側を手前に引いて外します。②



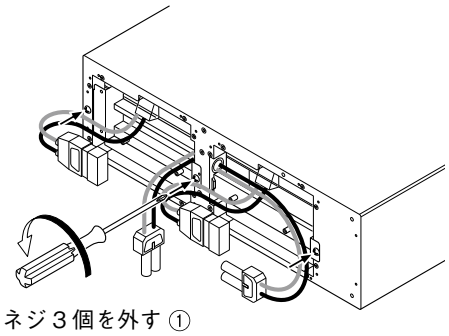
2. 前面部右側パネル（”BATTERY UNIT”ロゴのある部分）にあるネジ4個をドライバーで緩め、パネルを外します。①

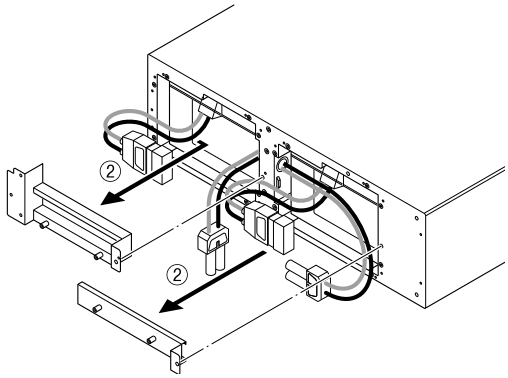


3. 板金カバーからバッテリコネクタ２個を取り外し①、コネクタを引き外します。②



4. それぞれの板金カバーを止めてあるネジ（左側２個、右側１個）を反時計回りに回して外します。① 板金カバーを右側にずらしながら手前に引き、取り外します。②



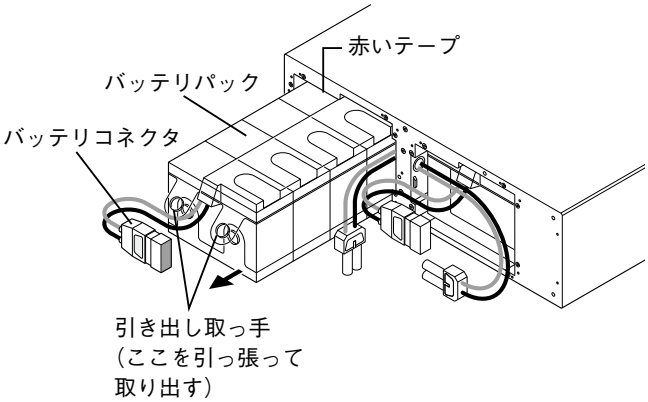


5. バッテリパックの引き出し取っ手を持って、バッテリパックを取り出します。

⚠ 注 意

バッテリパックのコネクタ、ケーブルを持たないこと。

バッテリパック天面に貼ってある赤いテープが見えたら、あと 10cm でバッテリが完全に取り出せます。バッテリを両手でしっかりと持ち、バッテリを落とさないよう注意してください。



6. 新しいバッテリパックを増設用バッテリユニットに奥まで挿入し、収納します。①

●交換用バッテリパック

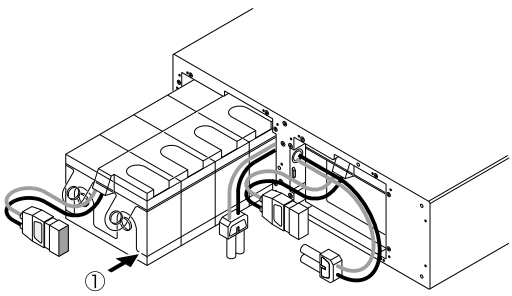
BUM300R 用：型式名 BUB300R（2 個必要）

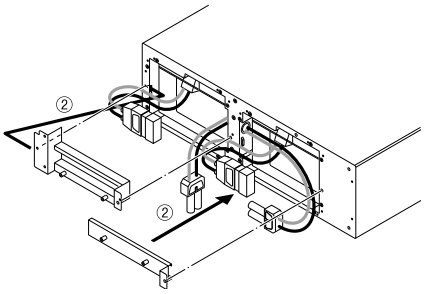
板金カバーを取り付けます。

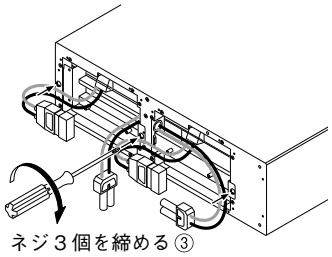
板金カバー左側のツメを増設用バッテリユニットの穴に差し込んだ後、増設用バッテリユニット側へ押さえます。②

板金カバー左側部分は、必ず増設バッテリユニットのケースの内側にはめ込んでください。

外したネジ 3 個（左側 2 個、右側 1 個）をドライバーで時計回りに回し、しっかり締め付けてください。③
このとき、板金カバーでケーブルを挟まないように注意してください。

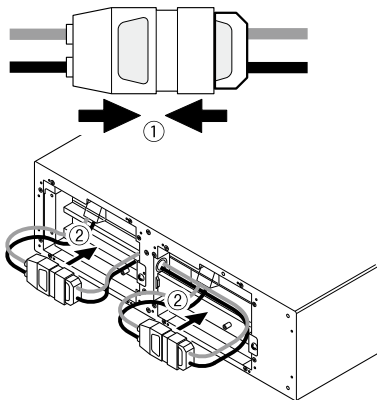




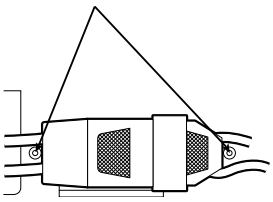


7. コネクタを止まるまで差し込みます。①
コネクタを板金カバーに固定します。②

本機の運転を停止して交換する場合、コネクタ接続時に“バチッ”と音がすることがありますが異常ではありません。

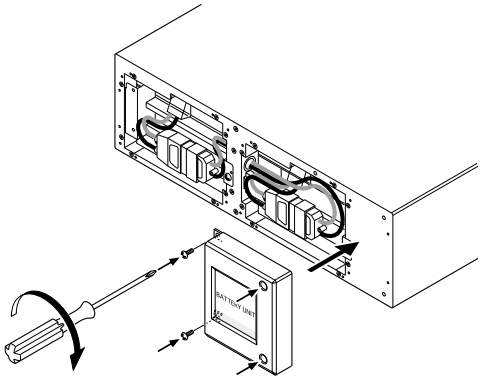


板金カバーの２つの支柱の間にコネクタをはめ込んで固定する



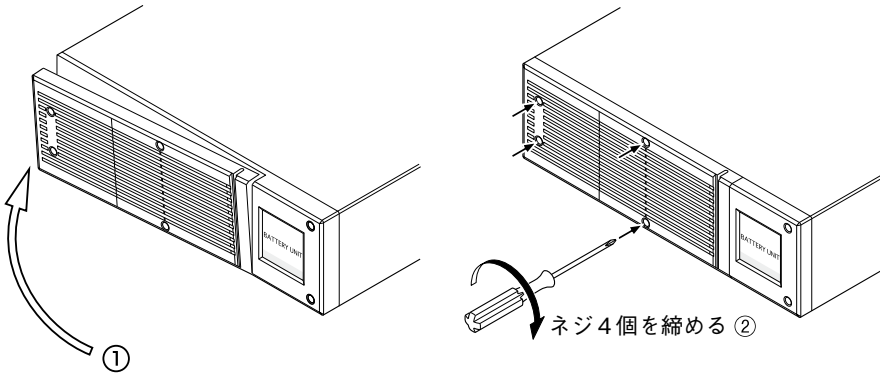
板金カバーに固定できない場合はコネクタが完全に差し込まれていません。
再度、コネクタを差し込みなおしてください。

8. 前面部右側パネル（”BATTERY UNIT”ロゴのある部分）を取り付けます。
パネル4隅にあるネジ４個をドライバーで時計回りに回し、しっかりと締め付けます。 ①



ネジ４個を締める ①

9. フロントパネルを取り付けます。
フロントパネル右側のツメを増設バッテリユニット側の穴に差し込んだ後、増設用バッテリユニット側へ押さえます。①
フロントパネル４隅にあるネジ４個をドライバーで時計回りに回し、しっかりと締め付けます。 ②



以上でバッテリ交換は完了です。

＜運転状態のまま交換した後は・・・＞

「ブザー停止／テスト」スイッチを 5 ～ 10 秒以上押し、自己診断テストを実施してください。約 10 秒のテスト後に正常運転に戻ります。ブザー音が鳴っている場合は、1 回目にスイッチを押すとブザー音が停止します。次にもう一回スイッチを押すと「テスト」をスタートします。交換前に「バッテリ交換」表示、ブザーが出ていた場合は、テスト完了後に表示・ブザーが停止し正常運転に戻ります。

＜運転を停止して交換した後は・・・＞

「AC 入力」を商用電源に接続し、過電流保護スイッチ、無停電電源装置（UPS）の「電源」スイッチを入れてください。運転開始時、自動的に自己診断テストを実施します。約 10 秒のテスト後に正常運転に戻ります。

❗ 同梱の「バッテリ交換日」シールに使用開始時期を記入してください。なお、無停電電源装置（UPS）に添付の自動シャットダウンソフトをご使用いただければ、本ソフトにて使用開始時期を管理いただけます。

◆お願い◆

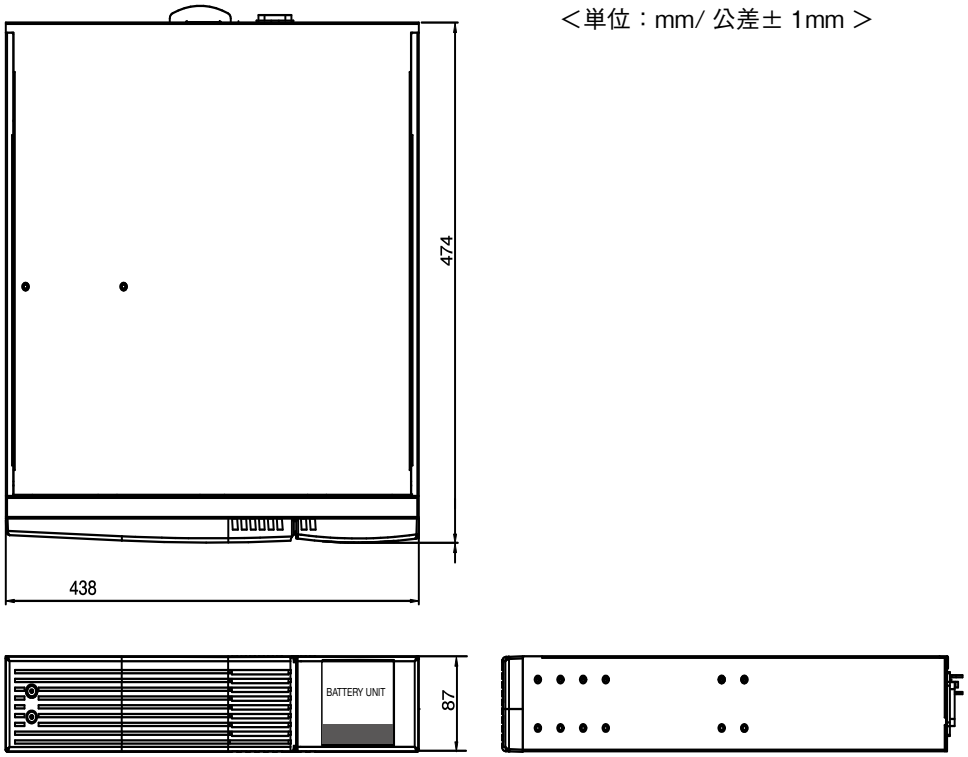
この製品には、鉛バッテリ（鉛蓄電池）を使用しています。

- 鉛バッテリはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。
- リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。

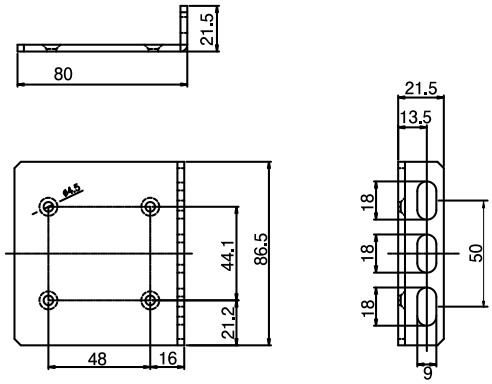
4 外形寸法図

● BUM100R

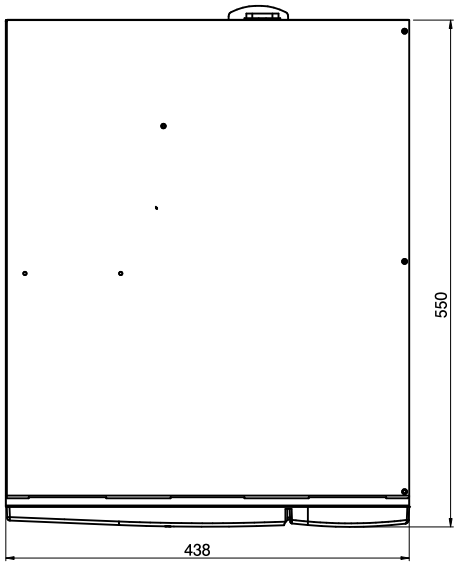
＜単位：mm/ 公差± 1mm ＞

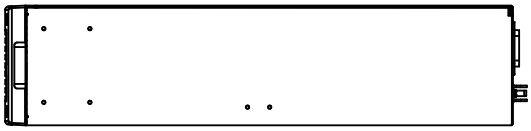


●耳金具

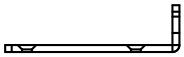


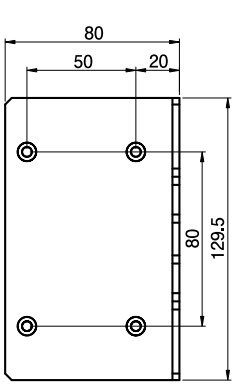
● BUM300R

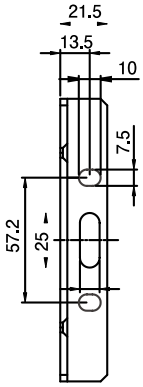




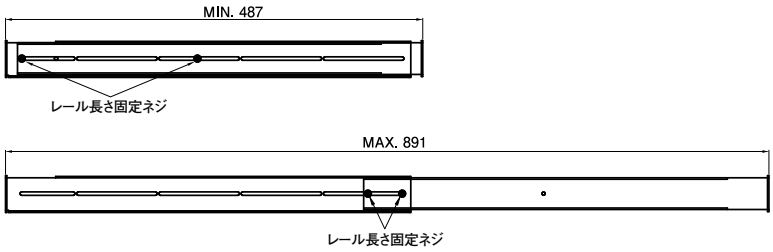
●耳金具







●サポートアングル



K1L-D-07119E